

令和4年度の重点課題

- ボール投げ、上体起こし、20mシャトルラン
  - ・県平均値かつ全国平均値より低い学年が多く、改善が必要である。
- 男子
  - ・令和3年度と比較すると、A判定の児童が減少し、C判定の児童が増加した。
- 女子
  - ・「50m走」や「20mシャトルラン」など走ることや「ボール投げ」において県平均値かつ全国平均値より低い学年が多かった。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 体育科の授業および業間体育での3分間走の取組を継続し、学年の実態に合ったカードを作成し、めあてをもたせることで持久力をつけた。
- 「ゲーム」の学習で、ボールを投げる機会が多くなるルールにした。
- 学習内容に応じて隣接学年による合同体育授業を行った。
- 入学してからの新体力テストの経年変化を学年ごとにまとめ、各学年での授業に生かした。
- 新体力テストでA判定の児童に「校内体力優秀賞」、前年度より判定が向上した児童に「校内体力向上賞」の表彰状を出し、意欲を継続させた。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	19.83	16.50	33.17	45.17	53.50	9.25	169.67	26.50	57.33	第5学年	20.00	8.33	45.33	42.00	37.33	10.20	153.67	15.33	55.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	19.83	16.50	33.17	45.17	53.50	9.25	169.67	26.50	57.33	第5学年	20.00	8.33	45.33	42.00	37.33	10.20	153.67	15.33	55.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	66.7	33.3	0.0	0.0	第5学年	0.00	100.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第3学年	66.7	33.3	0	0	第3学年	75	25	0	0
第4学年	50	50	0	0	第4学年	70	30	0	0
第5学年	66.7	33.3	0	0	第5学年	0	100	0	0
第6学年	100	0	0	0	第6学年	66.7	0	0	33.3

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・体育科の授業のサーキット運動で3分間走の取組を継続し、持久力をつける。
- ・上体起こしの課題を克服するために、器械運動の領域の授業をする時にゆりかご運動など上体起こしにつながる運動を取り入れる。
- ・学習内容に応じて、隣接学年による合同体育授業をする。
- ・入学してからの新体力テストの経年変化を学年ごとにまとめ、各学年での授業に生かす。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・業間体育での3分間走の取組を継続し、学年の実態に合ったカードを作成し、めあてをもたせることで、持久力をつける。
- ・新体力テストでA判定の児童に「校内体力優秀賞」、前年度より判定が向上した児童に「校内体力向上賞」の表彰状を出し、意欲を継続させる。
- ・「外で遊ぶWEEK」を設け、外遊びを奨励する。

重点課題

- 上体起こし
  - ・県平均値かつ全国平均値より低い学年が多く、改善が必要である。
- 女子
  - ・走ること(「50m走」「20mシャトルラン」)において、県平均値かつ全国平均値より低い学年が多い。
- 経年変化を見てみると、昨年度より県平均値かつ全国平均値より低い項目が増えた学年が多い。

令和6年度の重点目標値

上体起こしで、半数以上の項目で県平均値かつ全国平均値より上回る。第3学年から第6学年の(AB-DE)率を36%以上にする。